

◆◇◆仙台市人事委員会メールマガジン ～働く自分をイメージしよう！～ 2024/1/12◆◇◆

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員の「仕事で大変だったこと、思い出深いエピソード」をお届けします！

.....

先輩職員のアンケートから、「仕事で大変だったこと、思い出深いエピソード」の一部をご紹介します。仙台市職員として働くなかで、楽しいことばかりではないかもしれないけれど、それを乗り越えてきた先輩職員の心強いエピソードばかりです。これから仙台市職員として働くうえでの心構えとしてぜひご覧ください。

【事務】

- ・コロナ禍前のことですが、海外のインフルエンサーの方を仙台市内観光地へアテンドし、外国人視点でブログやSNSによる仙台の魅力発信ができたところが思い出深いです。
- ・異動があることです。これまでとは全く異なる分野の業務を一から覚えていく必要があるため大変ですが、自身の知識や経験が増え成長につながったり、さまざまな分野から仙台市のためになる仕事ができたりと良い点も多いです。
- ・東北全市を取りまとめた会議を仙台市主催で実施した際には、事務局として各市からの問い合わせに対応しつつ会議の準備を円滑に遂行しなければならず大変でしたが、その分、無事に終了した際には喜びも大きく思い出に残っています。
- ・今年度の仙台国際ハーフマラソンは、コロナ禍も明けたことで、4年ぶりに国際姉妹都市からのランナーを招待しての開催となりました。当時のノウハウを知る職員がほぼいない中、係のメンバー総出で準備や当日対応を行い、朝から夜まで大変でしたが、部署としての一体感を持ちながら仕事ことができました。事故無く一連の対応を終えたこと、そして何より来仙した各都市の皆さんが仙台での滞在を楽しんでくださったことが一番の思い出です。国籍や言葉などの違いをまっすぐ受け入れられる人、人が喜ぶ姿を見るのが好きな人が向いている仕事だと改めて感じました。

【土木】

- ・水道局では、24時間365日体制で浄水場を稼働しているほか、夜通しで作業をすることがあります。これは、水道水を使用されているお客様への影響を最小限に抑えるためです。皆が寝静まったころに、眠い目をこすりながら仕事をするのは大変ですが、やりがいと使命感で頑張ることができています。普段「当たり前」に使える水道水ですが、その「当たり前」は、裏でたくさんの人の努力があったうえで成り立っています。インフラの維持管理は、地味で大変なこともあります。その分やりがいも大きく感じることができます。
- ・初めて工事を担当したときは、設計・積算や現場監督など、分からないことだらけで大変苦労しましたが、自分で基準などを調べたり、先輩に教えてもらったりしながらなんとか進め、無事に完成できたときはとても嬉しく感じたことを覚えています。

【建築】

- ・社会人3年目となり、自身の主担当業務について、一から自身で考えて段取りをし、資料作

成や局長への説明、町内会への説明などを行い、政策に反映できた瞬間は自身の成長と大きなやりがいを感じました。

**【機械】**

・現場作業の際、そういった業務経験がなかったため苦労することもありましたが、経験豊富な先輩方が温かく指導してくれ、乗り越えることができました。

**【電気】**

・下水道施設の維持管理を担当している部署のため、設備の故障や台風等による大雨の際には夜間・休日問わず対応に当たらなければならないことがあり大変ですが、とてもやりがいのある仕事です。

**【化学】**

・コロナ対応の応援勤務で1ヶ月ほど区役所の保健所に行った際の業務の壮絶さは、とても印象的でした。国の方針が日々変わる中、迅速に正確な情報を公表しなければならない状況で、日々の業務ではなかなか経験しない大変な業務でしたが、普段あまり関わらない方々とともに仕事できたことはとても貴重な経験でしたし、勤務最終日に色々な方からお礼の言葉をいただいたことも、非常に印象に残っています。

**【造園】**

・入庁3年目で、大きな業務を2つ担当することになったのですが、他部署との協議・調整が多く、より一層の説明力・対応力・協調性が求められるようになりました。当時、副担当としてサポートしてくれた係の先輩が『1つの業務を1人で担当』よりも、『2つの業務を2人で担当』の方が効率がいい』と、いわゆる業務の属人化の解消を図ってくださったこともあり、一人では到底乗り越えられないような業務も、無事進めていくことができました。この先輩のように、従来の仕事の進め方にとらわれず、まわりの先輩・後輩が業務を進めやすくなるように日々心掛けていきたいと思いました。

**【心理】**

・仙台市入庁1年目が社会人1年目だったので、社会人としてのマナーや仕事の進め方等も分からないことが多く、大変でした。しかし、優しく教えてくれる方が多かったため、分からないことがあったらその都度聞き、1日1個学ぶことをモットーに頑張っていました。

**【保健師】**

・対人支援なので、同じような課題があるご家庭でも、対象者の思いや価値観に配慮して助言をするのが難しいです。対象者に感謝された経験も、上手く対応できなかった経験もどちらも深く思い出として記憶に残っています。

**【保育士】**

・子どもたちの成長をそばで見守ることができるというところにやりがいを感じています。特に保育所内の行事では、保護者の方と子どもの成長を喜び合うことができ、嬉しく感じています。

.....

※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。